

【第6学年】 B 器械運動 「ウ 跳び箱運動」

単元目標	知識及び技能	跳び箱運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技を身に付けることができるようにする。
	思考力、判断力、表現力等	自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
	学びに向かう力、人間性等	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動したり、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

	1	2	3	4	5(本時)	6
--	---	---	---	---	-------	---

学習の流れ	あいさつ・場や器具の準備							
	主運動につながる運動 カエルの足打ち、ウサギ跳び、馬跳び、跳び箱の上からの飛び下り、手押し車							
	10	課題発見活動 極めるシート（ループリック表）とビフォー動画を見比べて、課題を見つける。				極めた技の発表会を行う。		
	20	動きを高める活動 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td> 切り返し系 （開脚跳び・かかえ込み跳び） </td> <td> 回転系 （台上前転・伸しつ台上前転） </td> </tr> </table> ○ 自分の課題に応じた場で練習する。 自分の動きを適宜動画で撮影し、極めるシートの中で自分がどの段階にいるかを確認しながら取り組む。 ○ 友達と動きを見合い、アドバイスし合う。 極めるシートに記載されている技の観点（踏切、着手、空中姿勢、着地）や評価基準の言葉を用いながら、友達にアドバイスを行う。					切り返し系 （開脚跳び・かかえ込み跳び）	回転系 （台上前転・伸しつ台上前転）
	切り返し系 （開脚跳び・かかえ込み跳び）	回転系 （台上前転・伸しつ台上前転）						
30	○ 自分の課題や技のポイントを出し合う。 ↓ ループリック表の項目作成に用い							
40	○ 自分で動画を見ながら気づいた課題や友達からもらったアドバイスをもとに、自分の動きを修正する。							
45	振り返り活動 極めるシートを用いて、自分の課題が解決できたかどうか、その理由を振り返り、次時の課題につなげる。							

指導	知識		①		①	
	技能		①	①	②	②
	思・判・表			①	①	
	態度	①②				
評価	知識					①
	技能			①		②
	思・判・表				①	
	態度		②		①	

評価規準	知識	①かかえ込み跳び（開跳び）や伸しつ台上前転（台上前転）の行い方について、言ったり、書いたりしている。
	技能	①かかえ込み跳びでは、両足で踏み切って着手し、足をかかえ込んで跳び越し着地することができる。 ②伸しつ台上前転では、助走から両足で強く踏み切り、足を伸ばしたまま腰の位置を高く保って着手し、前方に回転して着地することができる。
	思考・判断・表現	①課題解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えられている。
	主体的に学習に取り組む態度	①互いの役割を決めて観察しあうなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合おうとしている。 ②器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。